



早くねる ただそれだけで みなぎる力

校長 江口 克也

斐太北まつりから1か月。学校は今、充実期ともいうべき落ち着いた時期を迎えています。1年教室から聞こえる元気な音読の声、2年教室からの真剣に唱える九九の声を初めとして、学校全体がやる気に満ちています。こうした時期を逃すことなく、学校では、通常の教育活動に加え、以下の取組を実施しました。

教育相談

事前アンケートをもとに、学級担任が全ての児童と面談を行う。一人ひとりに寄り添い、落ち着いて話を聞くことにより、互いの信頼関係を築く。

秋の読書旬間

各学級での読書指導、朝読書、図書ボランティアによる「おはなし会」などを行うことにより、読書に対する意欲を高める。合わせて、読書の習慣化を図るために、親子読書等、家庭への協力を呼び掛ける。

リズムづくりチャレンジ(生活習慣強調旬間)

よりよい生活リズムづくりに取り組むことを通して、メディア接触コントロールや早寝の日常化に取り組み、自己管理能力を育てる、

いずれも年間を通して行うべき内容ではありますが、期間を決め集中して取り組むことにより、教育効果を上げています。

表題の標語は、沖縄県うるま市のある中学生が作ったものです。単純な中に力強さがあり、とても気に入っています。社会環境の変化により、大人も子どもも時間的余裕、精神的余裕がだんだんと無くなってきているように感じます。そこに一石を投じるのがメディアとの上手な付き合い方ではないでしょうか。

妙高市教育委員会では、子ども発のルール作りに取り組み、今夏、「インターネットの利用に関するこども宣言」を行いました。また、新井中学校は、生徒、教職員、保護者の三者による「ネット利用宣言」を行いました。斐太北小学校においても、新井中学校に倣い、それぞれの立場で宣言を行う予定です。作って終わりではなく、実効性のあるものとなるよう、知恵を絞っていきます。

< 校長室から >⑥

長年、新井高校でスキー指導に手腕を発揮された平井俊雄先生が当校を訪問してくださいました。その際に、先生のご著書「妙高山は峨々として」をいただきました。体育人の私にとって、先生の指導理念に触れる貴重な機会となりました。『五年先を見る目、今を踏みしめる足』という先生の人生訓。大切にしたい言葉です。

いじめ見逃しゼロスクール集会

11月13日（水）に「いじめ見逃しゼロスクール集会」を行いました。今年度は、タレントの今井美穂様、新潟県教育庁、新潟県警察本部の皆様をはじめとする「いじめ見逃しゼロキャラバン隊」の皆様からも参加していただきました。はじめに先生方による「いじめの寸劇」をみて、フレンド班（異年齢グループ）で集まり、おかしなところや自分だったらどんな行動や声かけをするか話し合いました。互いの考えを出し合い、「いじめを見逃さない」「絶対にしない」ということを共有しました。後半は、キャラバン隊の皆様より、いじめ防止にかかわる講話をしていただきました。自分の中にある差別心について考え、いじめを「絶対にしない、許さない」学校全体の意識を高めました。



ミニブタとお別れ

11月26日（火）1年生が飼育していたミニブタの「とんくん」と「ぱくちゃん」とのお別れ会をしました。分かったことや思い出発表をしたり、さつまいもケーキをプレゼントしたりしました。地域や保護者の皆様にも大変お世話になり、また、かわいがっていただきました。ありがとうございました。



12月予定

- 1日（日）学校応援隊活動（9:00～）
- 2日（月）生活アンケート
- 3日（火）朝の読み聞かせ
- 4日（水）全校・生活朝会 ALT
- 5日（木）地域児童会
フレンドタイム
- 6日（金）5年生 PTC 活動
フッ化物洗口
- 9日（月）委員会
- 10日（火）図書整備作業（14:00～）
期末短縮校時
- 11日（水）ALT
- 12日（木）ぐんぐんタイム
- 13日（金）フッ化物洗口
- 18日（水）ALT
- 19日（木）期末短縮校時
- 20日（金）フッ化物洗口
- 23日（月）2学期終業式
4限給食後放課
- 24日（火）冬季休業（～1/7）